



国土交通省中国地方整備局
山口河川国道事務所
山陰西部国道事務所
宇部港湾・空港整備事務所

令和3年3月30日

同時資料提供

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

お知らせ

国土交通省 中国地方整備局

山口河川国道事務所

山陰西部国道事務所

宇部港湾・空港整備事務所

令和3年度の予算概要

問い合わせ先

○国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長	(河川)	やなぎだ としのぶ 柳田 敏信	(内線 204)
副所長	(道路改築)	もりやま やすひと 森山 泰人	(内線 205)
副所長	(道路管理)	にしおか ひさお 西岡 寿雄	(内線 206)
担当)	計画課長	わだ やすまさ 和田 康正	(内線 261)

電話番号 (0835) 22-1785

○国土交通省 中国地方整備局 山陰西部国道事務所 (山陰道関係)

副所長		やまむら よしはる 山村 嘉治	(内線 204)
担当)	工務課長	まえだ くにひろ 前田 邦博	(内線 411)

電話番号 (0838) 21-3926

○国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所

副所長		やまもと くにお 山本 邦夫	(内線 10)
担当)	工務課長	かわしま よしてる 川島 剛央	(内線 16)

電話番号 (0834) 31-0409

山口河川国道事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

山陰西部国道事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/saninseibu/>

宇部港湾・空港整備事務所ホームページ <http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/>

目 次

I. 令和3年度の主な事業概要	1
II. 令和3年度の予算概要	2
1. 配分方針	2
2. 事業概要	3
3. 令和3年度の道路調査の見通し	4
4. 主要な施策、事業の概要	5

山口河川国道事務所
山陰西部国道事務所
宇部港湾・空港整備事務所

令和3年度の予算概要

《令和3年度の主な事業概要》

○河川事業

- ・佐波川^{さばがわ}一般河川改修事業は、鈴屋地先^{すずや}において堤防整備に伴う睦美橋^{むつみ}の架け替え等を実施します。
- ・佐波川^{さばがわ}総合水系環境整備事業は、整備予定エリアにおいて、護岸等の整備を行います。

○道路事業

- ・山陰道^{ますだ たまがわ}益田・田万川道路は、令和3年度に新規事業として調査設計に着手します。
- ・山陰道^{おおい はぎ}大井・萩道路は、令和3年度に新規事業として調査設計に着手します。
- ・一般国道2号勝間地区^{かつま}歩道整工事は、令和3年度に新規事業として調査設計に着手します。

○港湾事業

- ・徳山下松港^{とくやまくだまつこう}国際物流ターミナル整備事業は、下松地区棧橋(水深 19m)の本体工事、徳山地区岸壁(水深 14m)の本体工事、航路(水深 14m)及び航路・泊地(水深 14m)の浚渫工事、新南陽地区岸壁(水深 12m)の調査設計等を推進します。
- ・岩国港^{いわくにこう}臨港道路整備事業は、臨港道路の橋梁下部・上部工事等を推進します。
- ・宇部港^{うべこう}航路・泊地整備事業は、航路(水深 13m)の浚渫工事を推進します。

《令和3年度の予算概要》

1. 配分方針

(1)令和3年度国土交通省関係予算については、「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「豊かで活力ある地方の形成と多核連携型の国づくり」を3本柱として、令和2年度第3次補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、施策効果の早期発現を図る方針としたところです。特に平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨など大規模自然災害等からの復旧・復興等を着実に進めるとともに、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進め、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の推進、将来を見据えた戦略的なインフラ老朽化対策、サプライチェーン等を強化する交通ネットワーク整備等に取り組み、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を構築することとしています。

(2)また、ウィズコロナにおける感染症拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、持続的な経済成長に向け、産業の競争力強化等に資する社会資本の重点整備、インフラ・物流分野等のデジタルトランスフォーメーション、海事・港湾分野等のカーボンニュートラルの実現を積極的に進めます。

(3)さらに、豊かで活力ある地方を創るために、二拠点居住やワーケーションなどの住生活環境の充実、次世代モビリティの普及、コンパクトで歩いて暮らせるゆとりとにぎわいあるまちづくりを進めていきます。

(4)以上のような点を踏まえ、一般公共事業等予算の配分に当たっては、

- ・あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」や集中豪雨に対応した総合的な土砂災害対策の推進
- ・将来を見据えたインフラ老朽化対策の推進
- ・地域における総合的な防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援
(防災・安全交付金)
- ・効率的な物流ネットワークの強化
- ・国際バルク戦略港湾の機能強化
- ・成長の基盤となる社会資本整備の総合的支援(社会資本整備総合交付金)
- ・コンパクトで歩いて暮らせるゆとりとにぎわいあるまちづくりの推進
- ・地域・拠点の連携を促す道路ネットワークの整備等
- ・多様な世帯が安心して暮らすことができる住宅セーフティネット機能の強化
などについて、地域の実情や要望、事業の必要性や緊急性に基づき、配分を行います。

また、山口河川国道事務所、山陰西部国道事務所及び宇部港湾・空港整備事務所は以上の方針を念頭に置き、山口県の県づくりを積極的に支援するため、各種事業を推進します。

2. 事業概要

1) 山口河川国道事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	令和3年度	令和2年度	対前年度比
河川関係			
一般河川改修事業	573	396	1.45
総合水系環境整備事業	22	30	0.73
小計	595	426	1.40
道路関係			
改築	2,945	3,750	0.79
交通安全(I種事業)	1,360	1,195	1.14
電線共同溝	670	415	1.61
小計	4,975	5,360	0.93
事務所計	5,570	5,786	0.96

注. 事業費はいずれも年度当初予算額である。

改築は、「岩国・大竹道路」(広島県分)は含まれていない。

一般河川改修事業は、小瀬川(山口県分)は含まれていない

維持管理に関する予算は含まれていない。

2) 山陰西部国道事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	令和3年度	令和2年度	対前年度比
道路関係			
改築	6,745	5,675	1.19
事務所計	6,745	5,675	1.19

注. 事業費はいずれも年度当初予算額である。

改築は、「益田・田万川道路」(島根県分)を含んでいる。

3) 宇部港湾・空港整備事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	令和3年度	令和2年度	対前年度比
港湾関係			
【国際拠点港湾】			
徳山下松港	3,540	5,420	0.65
【重要港湾】			
岩国港	764	1,000	0.76
宇部港	1,000	900	1.11
【地方港湾】			
油谷港	120	120	1.00
事務所計	5,424	7,440	0.73

注. 下関市域分は含まれていない。

事業費はいずれも年度当初予算である。

令和3年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

山口県・福岡県

しものせききたきゅうしゅう
下関北九州道路

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

山口県

みすみ なごと
山陰道 三隅～長門

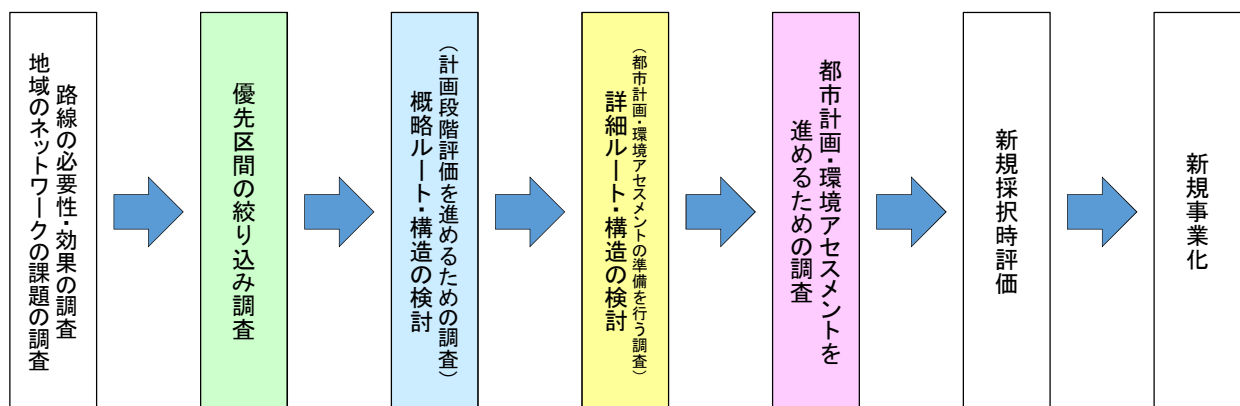
しものせききたきゅうしゅう
下関北九州道路については、計画の具体化に向け、山口県及び福岡県等の関係自治体と協しつつ、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施します。

下関都市圏及びその周辺部については、広域的な幹線道路ネットワークの機能強化等に係る調査を実施します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



4. 主要な施策、事業の概要

1)河川事業

事業名	令和3年度の概要	備考
佐波川一般河川改修事業 奈美地区堤防パワーアップ対策事業	鈴屋地先において堤防整備に伴う睦美橋の架け替え等を実施します。	資料- 1
佐波川総合水系環境整備事業 佐波川の利活用促進を図る水辺整備	整備予定エリアにおいて、護岸等の整備を行います。	資料- 2

2)道路事業

事業名	令和3年度の概要	備考
一般国道2号 岩国・大竹道路	調査設計、改良工事等を推進します。	資料- 3
一般国道2号 富海拡幅	令和7年度の開通に向けて改良工事を推進します。	資料- 4
一般国道188号 藤生長野バイパス	調査設計を推進します。	資料- 5
一般国道188号 柳井・平生バイパス	調査設計を推進します。	資料- 6
山陰道 益田・田万川道路	調査設計に着手します。	資料- 7
山陰道 大井・萩道路	調査設計に着手します。	資料- 8
山陰道 俵山・豊田道路	用地買収、改良工事、橋梁下部工事等を推進します。	資料- 9
一般国道191号 木与防災	改良工事、橋梁下部工事、トンネル工事等を推進します。	資料- 10
一般国道2号 勝間地区歩道整備	調査設計に着手します。	資料- 11
一般国道190号 日の出電線共同溝	本体工事を推進します。	資料- 12
下関北九州道路	関係自治体と協力しつつ、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査に着手します。	資料- 13
トラック・バス渋滞ポイントにおける対策	一般国道2号錦見交差点において渋滞対策を実施します。	資料- 14

3)港湾事業

事業名	令和3年度の概要	備考
国際拠点港湾 徳山下松港 国際物流ターミナル整備事業	棧橋本体工事、岸壁本体工事、浚渫工事、調査設計等を推進します。	資料- 15
重要港湾 岩国港臨港道路整備事業	橋梁下部・上部工事等を推進します。	資料- 16
重要港湾 宇部港航路・泊地整備事業	浚渫工事を推進します。	資料- 17

さ ば が わ
佐波川河川改修事業

な み
～奈美地区堤防パワーアップ対策事業～

事業費573百万円

資料-1

※佐波川水系全体

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

ほうふし すずや
防府市鈴屋地先は、堤防がない箇所や堤防の高さや幅が不足している箇所が存在しており、昭和47年7月に発生した戦後第2位の洪水や、平成21年7月洪水により、家屋の浸水被害が発生しています。

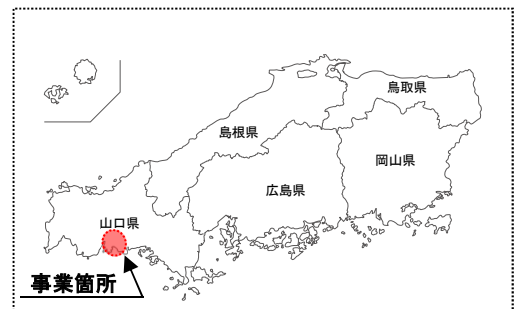
このため、平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、「奈美地区堤防パワーアップ対策事業」として、堤防整備や橋梁の架け替え等を集中的に推進し、地域の安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

ほうふしすずや
山口県防府市鈴屋地先

3. 令和3年度 予定事業内容

むつみ
堤防整備に伴う睦美橋の架け替え等を実施します。



4. 期待される整備効果

堤防整備等を実施することで、事業完了後に河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後第2位の洪水)が再び発生した場合において、周辺地域の家屋浸水被害が防止されます。

さばがわ
佐波川総合水系環境整備事業
 ～佐波川の利活用促進を図る水辺整備～

事業費22百万円

資料-2

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

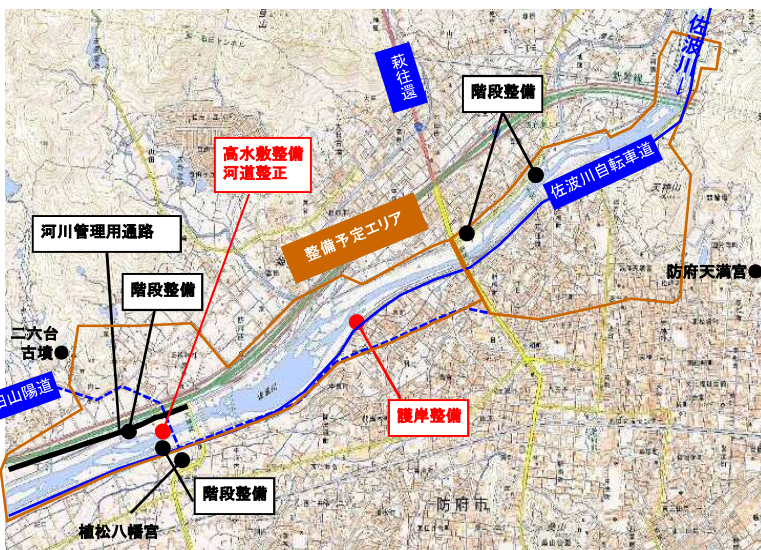
防府市では、佐波川や歴史的な街道を「重要景観軸」と位置づけ、それらを介した地域や人とのつながりの形成を進めており、佐波川を訪れる方への案内看板や休憩施設等を設置する予定としています。国土交通省も防府市と連携して、河川管理用通路や彩り豊かな植栽を整備し、佐波川自転車道等と結ぶことで、散策やサイクリング等の利用を促進するとともに、高水敷等の整備により、水辺利用の促進を図ります。

2. 事業箇所

山口県防府市新橋町地先 外

3. 令和3年度 予定事業内容

護岸整備、高水敷整備、河道整正を実施します。



～主な整備内容(国)～



河川管理用通路と植栽の整備イメージ



親水護岸と河道整正の整備イメージ

～施設の利用状況～



河川管理用通路の利用状況



佐波川自転車道の利用状況



高水敷整備後の利用イメージ

4. 期待される整備効果

新たな河川管理用通路や高水敷、植栽等を整備することで、散策やサイクリング等の利用者の増加や水辺利用の促進が期待されます。

一般国道2号 岩国・大竹道路

事業費2,990百万円
(広島県1,450百万円 山口県1,540百万円)

資料-3

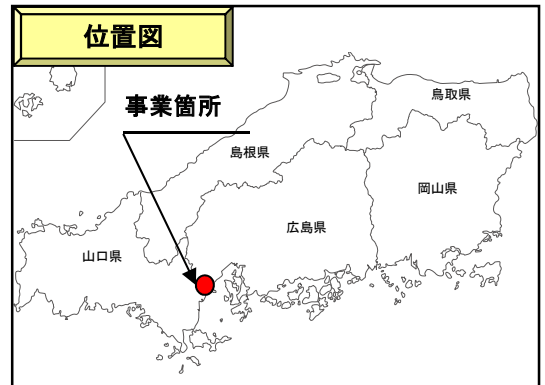
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

一般国道2号岩国・大竹道路は、交通混雑の緩和及び交通安全の確保、広島県と山口県の広域的な連携・交流を目的とした、広島県大竹市小方一丁目から山口県岩国市山手町に至る延長9.8kmの道路です。

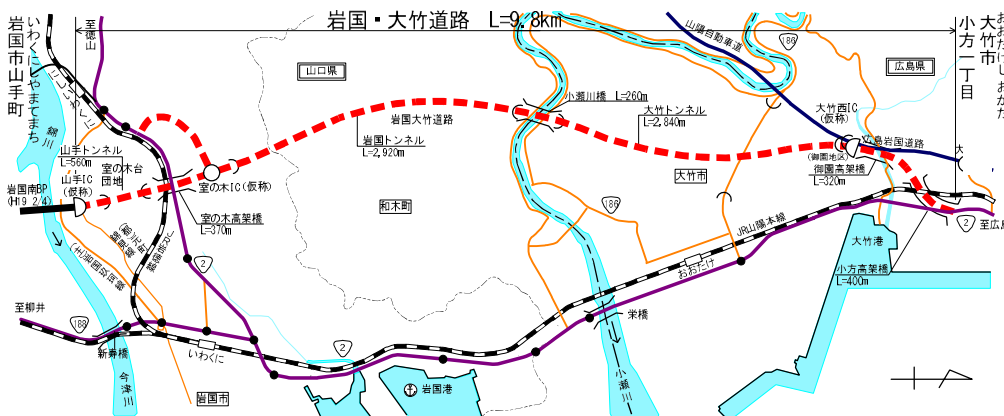
2. 事業箇所

広島県大竹市小方一丁目～山口県岩国市山手町



3. 令和3年度 予定事業内容

調査設計、改良工事等を推進します。



信号交差点が連続する大竹市街の道路状況



岩国新港地区(渋滞状況)

期待される整備効果

●所要時間の短縮

広島方面から岩国錦帯橋空港への定時性および利便性の向上が期待されます。



※現況所要時間は民間プローブデータ(H25.4~H25.8平日)
整備後所要時間は岩国・大竹道路V=70km/h(起点~室の木IC)、
60km/h(室の木IC~山手IC)、H22道路交通センサス旅行速度で設定。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

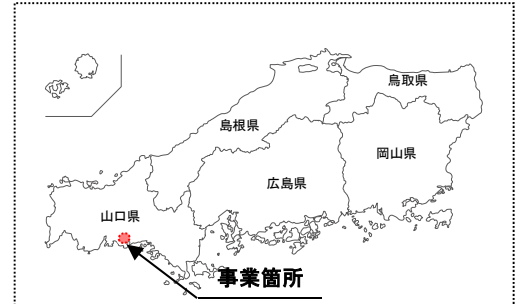
との み しゅうなん ほう ふ
富海拡幅は山口県周南市～防府市間における交通混雑の緩和を図るとともに交通事故の削減、地域経済の活性化を目的とした延長3.6kmの道路です。

2. 事業箇所

しゅうなん へ た ほう ふ との み
山口県周南市戸田～防府市富海

3. 令和3年度予定事業内容

令和7年度の開通に向けて、改良工事を推進します。



【写真①】現在の改良工事進捗状況
(周南市方面から防府市方面を望む)



【写真②】現在の改良工事進捗状況
(周南市方面から防府市街方面を望む)

4. 期待される整備効果

■産業活動の活性化

- 自動車製造業が主幹産業の防府市には大手自動車メーカーの2工場を中心に関連事業所が数多く集積しており、令和元年度には新たに産業団地の造成が完了しています。
- 富海拡幅の4車線化による利便性向上により、部品搬送の確実性が向上し、自動車製造業全体の効率化支援が期待されます。



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

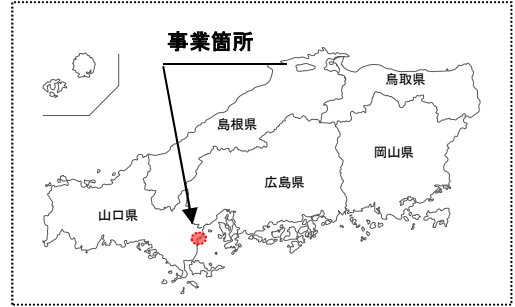
ふじゅう ながの
 藤生長野バイパスは、交通事故の減少及び災害等に強い道路ネットワークを確保、岩国市付近の工業団地と岩国港等とのアクセス性向上を目的とした延長7.6kmの道路です。

2. 事業箇所

山口県 岩国市 藤生町～ 岩国市長野

3. 令和3年度 予定事業内容

調査設計を推進します。



▲写真 交通事故発生状況

発生日	発生時間	規制時間	事故類型
H26.7.27	15:54	0:51	出会い頭衝突
H26.12.11	18:10	0:43	正面衝突
H27.12.20	13:14	0:40	正面衝突
H28.5.23	21:26	2:38	正面衝突
H28.11.24	7:32	3:43	単独事故
H28.12.9	8:32	1:17	衝突事故
H29.3.4	19:29	0:53	歩行者と接触
H29.4.17	11:37	1:18	単独事故
H29.4.28	16:25	0:25	二輪車と接触
合計		12:28	

▲一般国道188号の通行止め事故発生状況(H26以降)

4. 期待される整備効果

○バイパス整備により、現道の渋滞緩和、事故減少、災害に強い道路ネットワークが確保され、住民生活や物流活動を支援します。



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

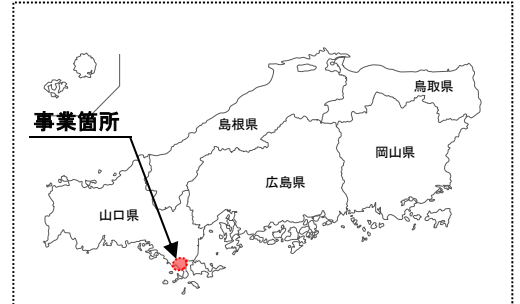
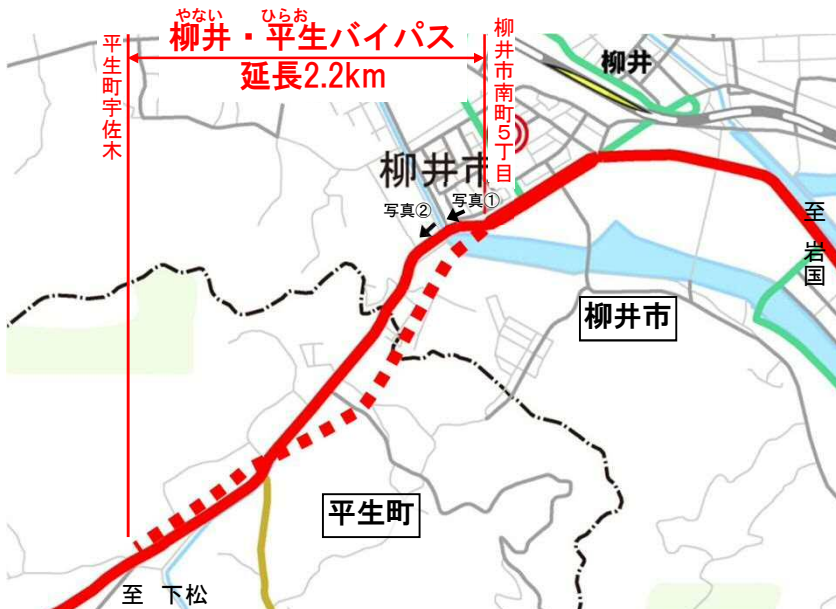
^{やない ひらお}柳井・平生バイパスは交通混雑の解消及び交通安全の確保を目的とした延長2.2kmの道路です。

2. 事業箇所

^{やない みなみまち くまげ ひらお ちよう うさなぎ}山口県柳井市南町5丁目～山口県熊毛郡平生町宇佐木

3. 令和3年度 予定事業内容

調査設計を推進します。



写真① 交通混雑の状況



写真② 狭小区間における自転車走行状況

4. 期待される整備効果

■ 幹線道路の交通混雑解消

○当該区間の整備により、第二次救急へのアクセス性が向上し、救急医療活動を支援。

【平生町役場～周東総合病院の所要時間】

現況:9分 → 整備後:7分(約2分短縮)

※H27全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度より整備後は、柳井・平生バイパス設計速度60km/hで算出



図 柳井・平生地域の救急搬送状況

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 益田・田万川道路は島根県・山口県の県境に位置し、災害時等の代替路の確保及び、救急医療活動の支援、物流の効率化を図ることを目的とした、延長7.1kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

山口県萩市下田万～島根県益田市戸田町

3. 令和3年度 予定事業内容

調査設計に着手します。

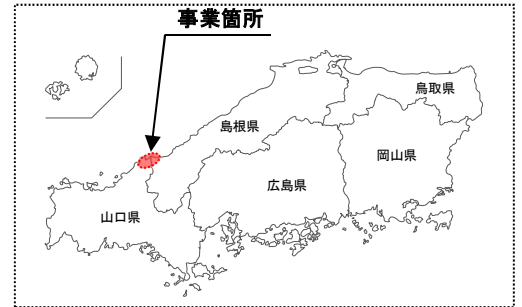


4. 期待される整備効果

- 国道191号は山口県萩市と島根県益田市を最短で結ぶが、平成25年7月豪雨災害時には二級河川田万川が氾濫し大きな迂回が発生。
 - 益田・田万川道路の整備により、災害等による交通障害や道路寸断時の広域迂回が解消されます。
- 【萩市田万川支所～益田市役所の国道191号通行止め時の所要時間】
 現況 約112分(迂回時)
 → 整備後 約26分 (約86分短縮)



新規着手



写真① 線形不良箇所・益田市飯浦町付近



写真② 九州方面から浜田港への木材の運搬状況・田万川トンネル付近



写真③ H25年7月の冠水による通行止め・萩市下田万付近

1. 事業の必要性及び概要

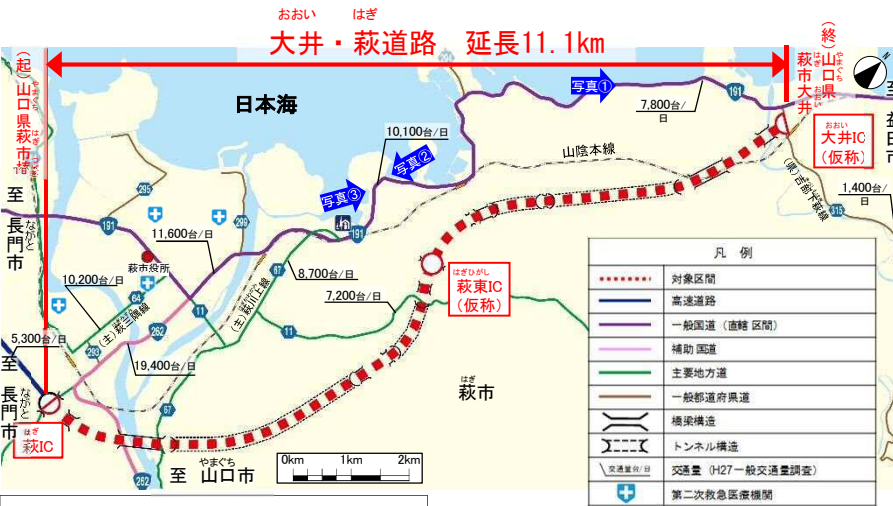
山陰道 大井・萩道路は、萩市中心部に位置し、災害時の代替路の確保及び、救急医療活動の支援、広域的な交流連携を図ることを目的とした、延長11.1kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

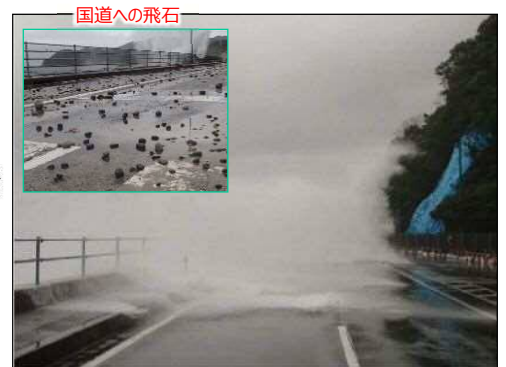
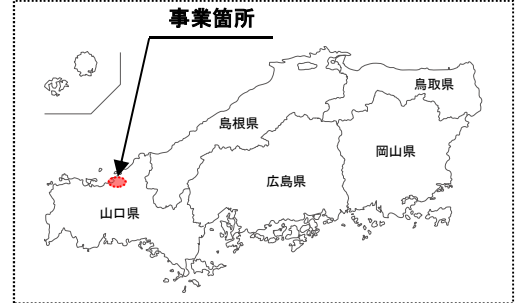
山口県萩市椿～萩市大井

3. 令和3年度 予定事業内容

調査設計に着手します。



新規着手



写真① 越波による通行止め
・萩市大井門前付近

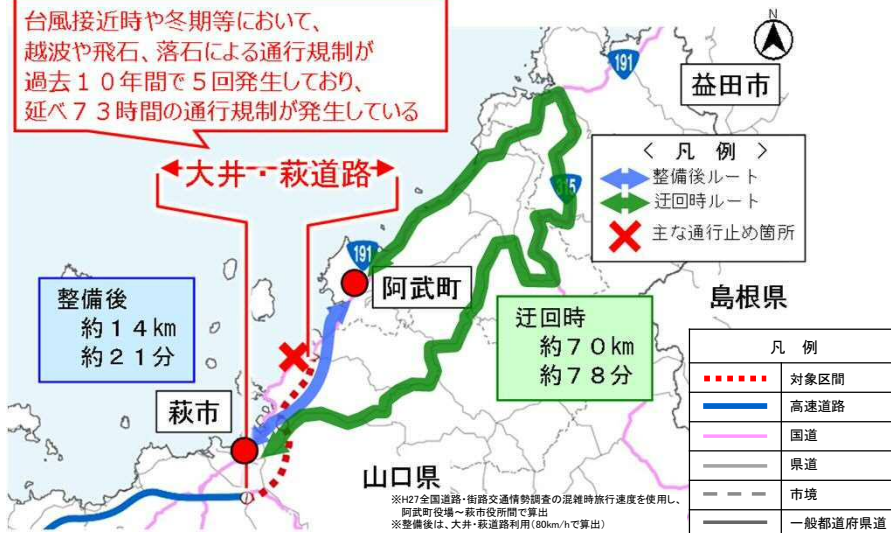
4. 期待される整備効果

○災害時の交通障害や道路寸断による広域迂回が解消されます。

【萩市役所～阿武町役場の国道191号通行止め時の所要時間】

現況 約78分(迂回時) → 整備後 約21分 (約57分短縮)

台風接近時や冬期等において、越波や飛石、落石による通行規制が過去10年間で5回発生しており、延べ73時間の通行規制が発生している



【国道191号通行止め時の迂回】



写真② 事故による通行止め
・萩市椿東中小畑付近



写真③ 線形不良箇所
・萩市椿東中小畑付近

山陰道 俵山・豊田道路

事業費3,510百万円

資料-9

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

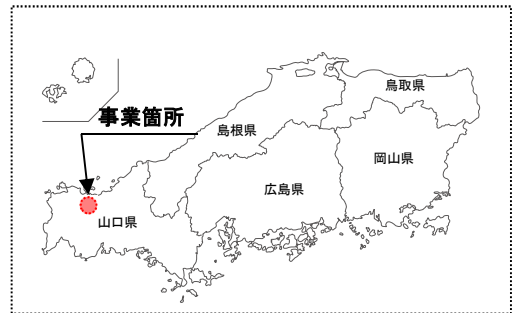
山陰道 俵山・豊田道路は、一般国道491号や主要地方道 下関長門線等の事前通行規制区間の回避、広域観光連携の強化、第3次救急医療機関へのアクセス改善を目的とした延長13.9kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

山口県下関市豊田町八道～山口県長門市俵山小原

3. 令和3年度 予定事業内容

用地買収、改良工事等を推進します。

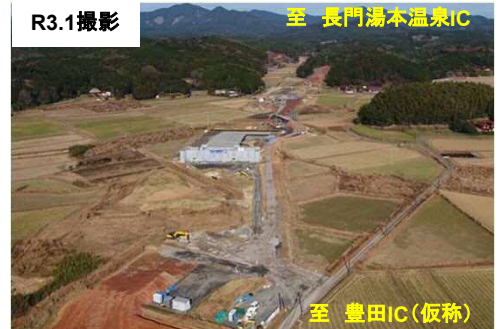


R3.1撮影 至 長門湯本温泉IC



写真① 金道地区施工状況

R3.1撮影 至 長門湯本温泉IC



写真② 八道地区施工状況



4. 期待される整備効果

○俵山・豊田道路の整備によって、観光地間が高速ネットワーク化され、九州から山口県北部への観光交流人口の拡大が期待

※資料/山口県観光振興課調べ (R1山口県観光客動態調査より)
※主要観光施設は下関市、長門市、萩市、美祢市、宇部市、山口市に立地する観光施設のうち年間入込客数10万人以上のみプロット

▼九州方面から山口県への観光交流人口



1. 事業の必要性及び概要

事業推進

木与防災は、国道191号の事前通行規制区間を回避し、緊急時の代替路を確保することを目的とした延長5.1kmの道路です。

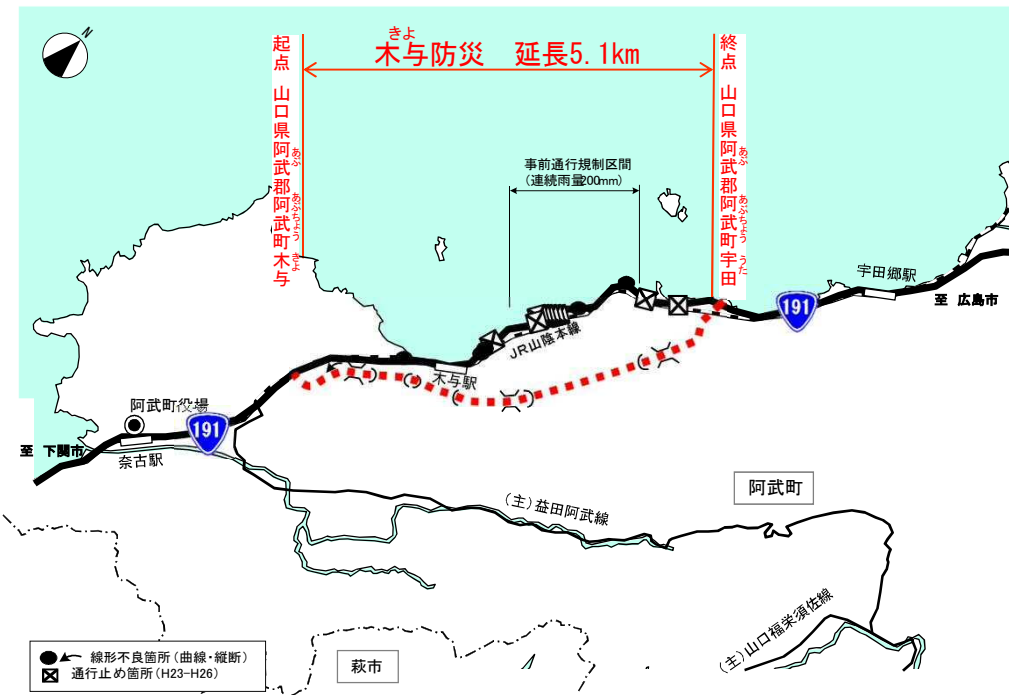
2. 事業箇所

山口県阿武郡阿武町木与～阿武郡阿武町宇田



3. 令和3年度 予定事業内容

改良工事、トンネル工事等を推進します。



写真① 宇田地区施工状況



写真② 木与地区施工状況

4. 期待される整備効果

■地域の安心安全を確保

○国道191号の事前通行規制区間を回避することにより、災害時の代替路確保し、地域の安全安心を確保します。

■産業を活性化

○木与防災を整備することにより、定時性、確実性が確保でき、物流活動を支援します。

発生年度	件数	概要	全面通行止め時間
H21	1	事前通行規制	47時間(2.0日)
H22	1	土砂流出	153時間(6.4日)
H23	3	事前通行規制	187時間(7.8日)
H24	1	事前通行規制	9時間(0.4日)
H25	2	事前通行規制	35時間(1.5日)
H26	1	事前通行規制	16時間(0.7日)
合計	9	-	約447時間(約19日)

表1 国道191号木与地区の災害等による通行止め履歴(H18～R1)

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、近傍に勝間小学校が立地しており、交安法第3条に基づく通学路に指定されているが、歩道が狭小のため、通学中の児童は非常に危険な状況となっています。

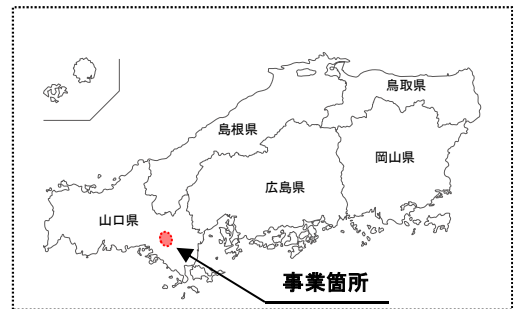
本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、既設歩道を拡幅し、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の整備を行うものです。

2. 事業箇所

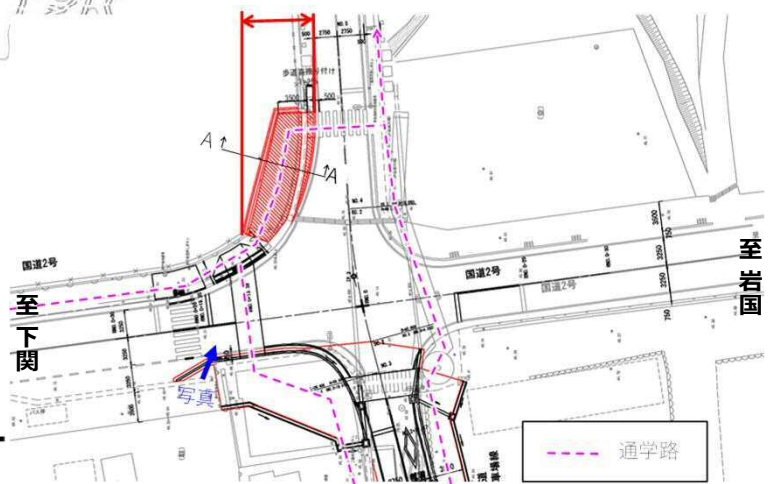
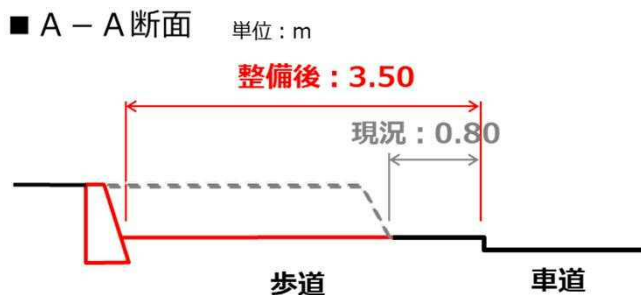
しゅうなん よびさか
山口県周南市呼坂

3. 令和3年度 予定事業内容

調査設計に着手します。



写真①: 歩道狭小の通学路



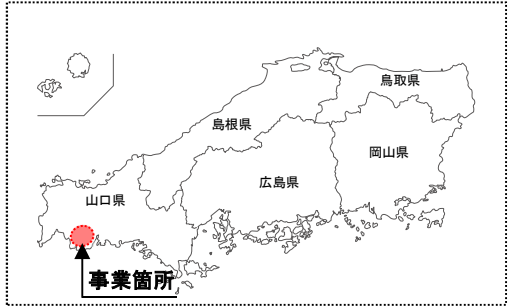
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

日の出電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに災害時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりの支援を目的とした事業です。

2. 事業箇所

山口県山陽小野田市東高泊～
山口県山陽小野田市西高泊



3. 令和3年度 予定事業内容

本体工事を推進します。

平面図

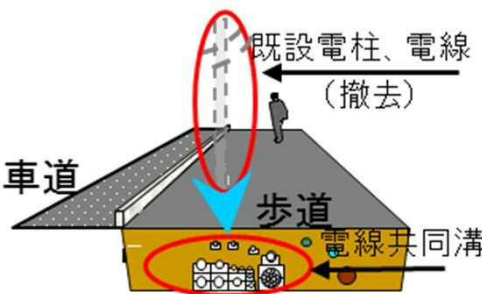


現況写真



4. 期待される整備効果

《イメージ図》



《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



<電柱の倒壊による道路閉塞の事例> <飛来物による電柱倒壊の事例> <歩行の支障となる電柱の事例>

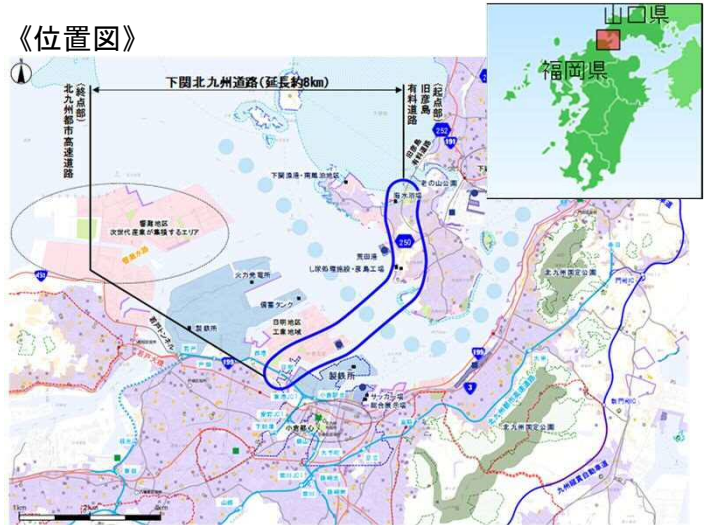
継続

○ 調査の概要

しものせききたきゅうしゅう しものせき きたきゅうしゅう
 下関北九州道路は、下関市、北九州市の都心部を結び、循環型ネットワーク形成により、くらし、産業・物流、観光、渋滞緩和など地域の一体的発展に寄与するとともに、本州と九州の広域的な人流・物流及び経済活動の活性化を支える大動脈、災害時の代替路としての機能・役割を担う道路です。

令和3年度より、山口県及び福岡県等の関係自治体と協力しつつ、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査に着手します。

《位置図》



※海峡部の構造形式は 橋梁

○ 当該地域の課題

- 令和2年7月豪雨時では関門橋が通行止めとなり、関門トンネルに交通が集中し、周辺部が渋滞。
- 関門トンネル・関門橋を利用する交通需要の約8割が広域交通(地域内外・通過交通)であり、通行止めにより約7万台/日に影響する可能性があり、地域のみならず広域交通にとっても課題。

＜令和2年7月の豪雨時の影響＞



資料：ETC2.0プローブデータ

＜通行止めによる本州-九州間の広域物流への影響＞

□ 関門トンネル・関門橋を利用する交通需要

関門トンネル・関門橋を利用する交通需要の約8割が広域交通

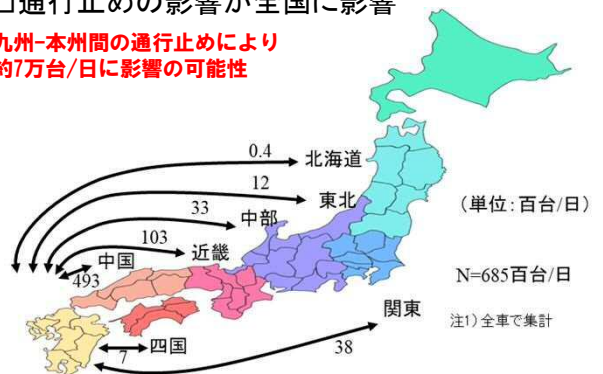


注1) 全車で集計
 注2) 北九州市・下関市を地域内として集計

資料：全国道路・街路交通情勢調査 自動車起終点調査 (H27)

□ 通行止めの影響が全国に影響

九州-本州間の通行止めにより約7万台/日に影響の可能性



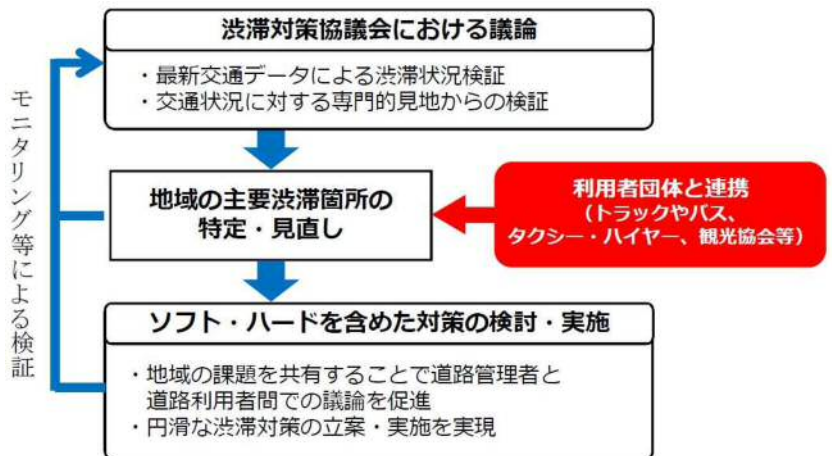
資料：全国道路・街路交通情勢調査 自動車起終点調査 (H27)

1. 事業の概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者の視点で渋滞箇所を特定した上で、速効対策を実施する取り組みを全国で推進します。

渋滞対策の推進体制



2. 主な事業箇所・事業内容

国道29号 安長北交差点
(鳥取県 鳥取市)



<<右折レーンの延伸を予定>>

国道9号・191号 中吉田交差点
(島根県 益田市)



<<右折待ち待避スペース(ゼブラ帯)の増設を予定>>

国道2号 手ノ原交差点
(岡山県 浅口郡 里庄町)



<<右折レーンの延伸を予定>>

国道31号 東部流通団地北口交差点
(広島県 安芸郡 海田町)



<<路面表示(導流路)の明示を予定>>

国道2号 錦見交差点
(山口県 岩国市)



<<停止線の前出し(交差点のコンパクト化)を予定>>

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

徳山下松港は、西日本に立地する火力発電所や鉄鋼、製紙、化学工業等で発電燃料に用いられる石炭の輸入拠点として重要な役割を果たしており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に選定される等、更なる発展が期待されています。

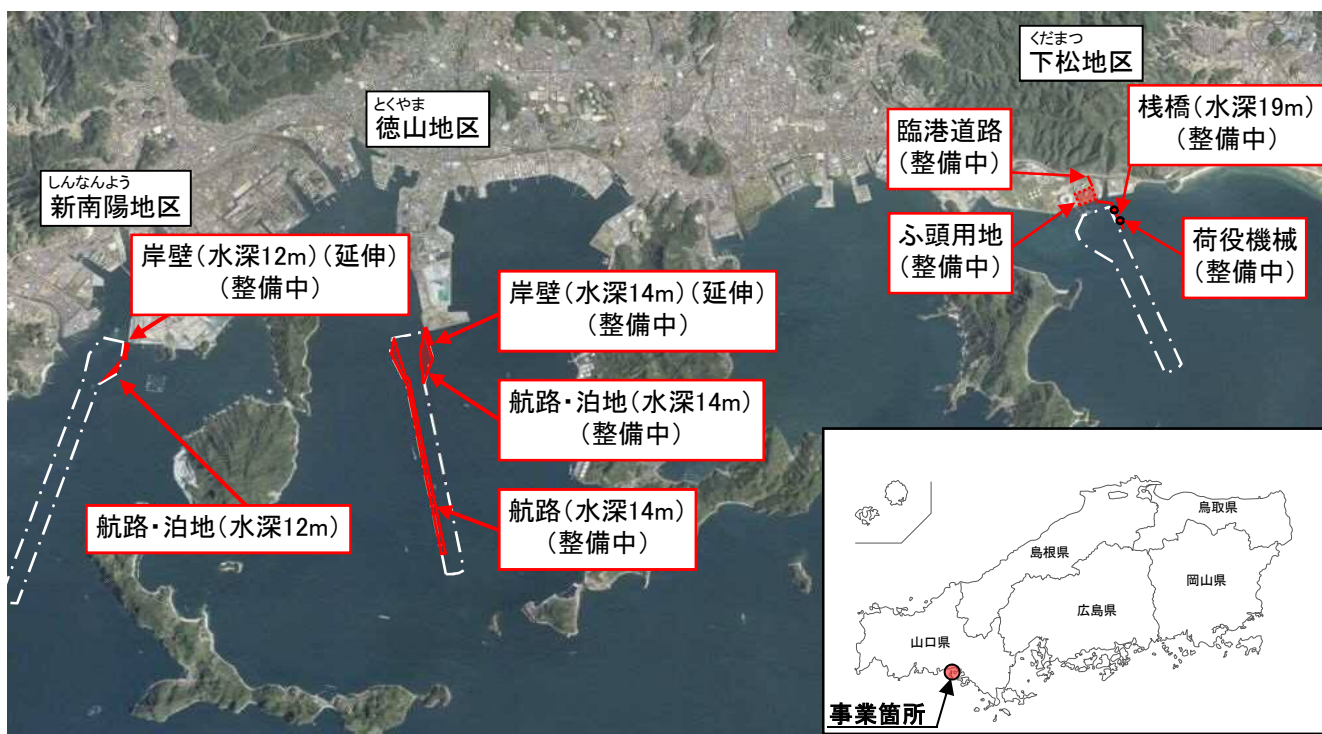
石炭を輸入する企業が利用する既存ターミナルは、大型船に対応しておらず、積荷調整による非効率な輸送を余儀なくされています。このため、下松地区、徳山地区および新南陽地区において、大型船に対応した岸壁等の整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県周南市、下松市

3. 令和3年度 予定事業内容

下松地区棧橋(水深19m)の本体工事等、徳山地区岸壁(水深14m)の本体工事、航路(水深14m)及び航路・泊地(水深14m)の浚渫工事、新南陽地区岸壁(水深12m)の調査設計等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、企業間連携による大型石炭運搬船を活用した共同輸送の進展への対応が可能となり、地域産業の安定・発展や国際競争力の強化が図られるとともに、西日本地域の石炭輸入拠点となることにより、石炭の安定的かつ安価な輸送の実現や大規模災害時における物資輸送機能の維持に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

岩国港は、石油化学コンビナート等を有する工業港であるとともに、国際コンテナ貨物の取扱港として地域経済を支える重要な役割を担う港です。

しかし、港内のふ頭間を結ぶアクセスルートがないため、港湾関連車両は混雑が激しい国道2号や住宅地内の市道を通行し、非効率な輸送を余儀なくされています。

このため、港湾貨物の物流効率化や住宅地の生活環境の改善を図るため、臨港道路の整備を推進します。

2. 事業箇所

いわくに
山口県岩国市

3. 令和3年度 予定事業内容

臨港道路の橋梁下部・上部工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、ふ頭間の臨港交通ネットワークの構築による物流効率化が図られ、背後企業の国際競争力強化に寄与します。また、住宅地内の市道を通行していた港湾関連車両の通行ルートが新たに確保されることにより、周辺的生活環境の改善に資することが期待されます。

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

宇部港は、背後に集積する基礎素材型産業を支える工業港として重要な役割を担っており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、航路が水深11mで暫定供用となっているため、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

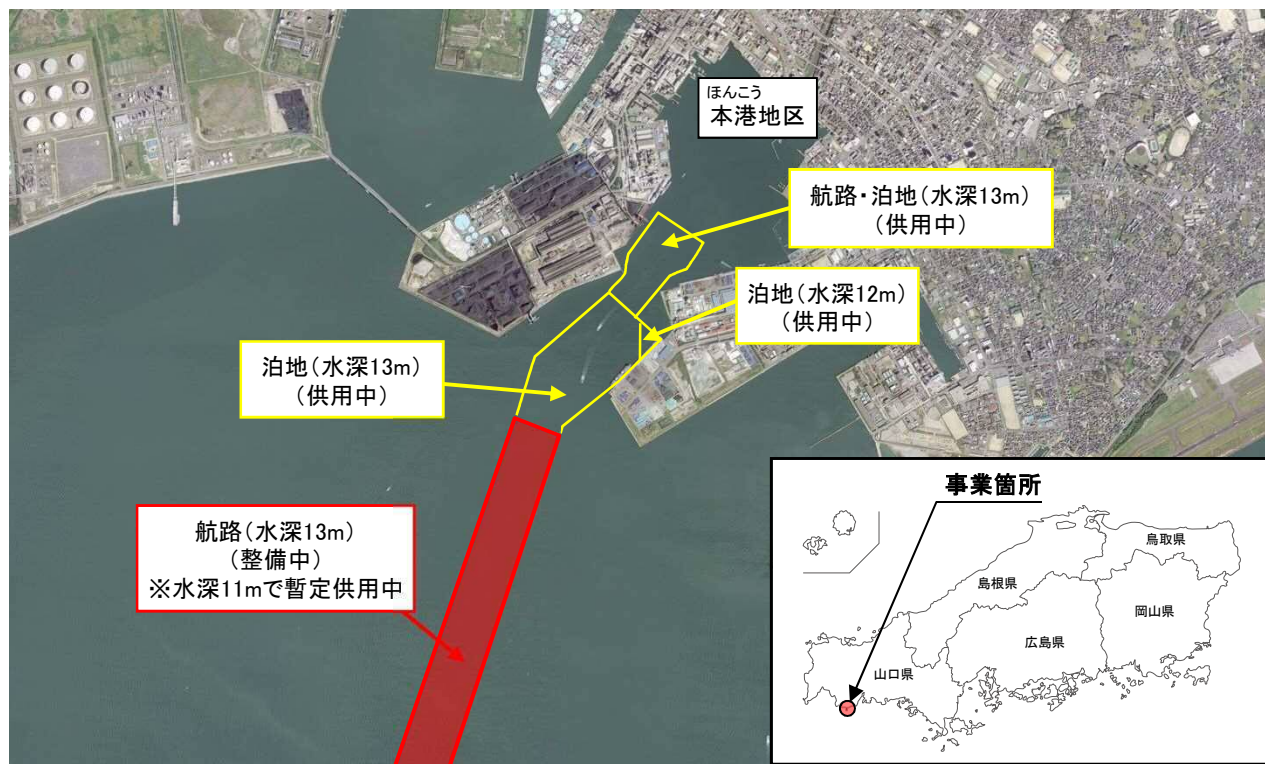
このため、大型貨物船による効率的な輸送に対応するため、水深13mの航路整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県^{うべ}宇部市

3. 令和3年度 予定事業内容

航路(水深13m)の浚渫工事を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、大型貨物船の満載による効率的な輸送及び安全な航行が可能となり、物流コストの削減により基礎素材型産業の国際競争力の維持・強化に寄与します。